Ｋ９３５　止血用加熱凝固切開装置加算　700点
注　区分番号Ｋ４７６に掲げる手術に当たって、止血用加熱凝固切開装置を使用した場合に算定する。
Ｋ９３６　自動縫合器加算　2,500点
注　区分番号Ｋ５１１、Ｋ５１３、Ｋ５１４、Ｋ５１４－２、Ｋ５１７、Ｋ５２２－３、Ｋ５２５、Ｋ５２９、Ｋ５３１からＫ５３２－２まで、Ｋ６５５、Ｋ６５５－２、Ｋ６５５－４、Ｋ６５７、Ｋ６５７－２、Ｋ７０２、Ｋ７０３、Ｋ７１１－２、Ｋ７１６、Ｋ７１９、Ｋ７１９－２、Ｋ７１９－３、Ｋ７３２の２、Ｋ７３５、Ｋ７３５－３、Ｋ７３９からＫ７４０－２まで、Ｋ８０３及びＫ８１７の３に掲げる手術に当たって、自動縫合器を使用した場合に算定する。
Ｋ９３６－２　自動吻合器加算　5,500点
注　区分番号Ｋ５２２－３、Ｋ５２５、Ｋ５２９、Ｋ５３１からＫ５３２－２まで、Ｋ６５５、Ｋ６５５－２、Ｋ６５５－４、Ｋ６５７、Ｋ６５７－２、Ｋ７０２、Ｋ７０３、Ｋ７１９の３、Ｋ７１９－２の２、Ｋ７３９からＫ７４０－２まで、Ｋ８０３及びＫ８１７の３に掲げる手術に当たって、自動吻合器を使用した場合に算定する。
Ｋ９３６－３　微小血管自動縫合器加算　2,500点
注　区分番号Ｋ０１７及びＫ０２０に掲げる手術に当たって、微小血管自動縫合器を使用した場合に算定する。
Ｋ９３７　心拍動下冠動脈、大動脈バイパス移植術用機器加算　30,000点
注　区分番号Ｋ５５２－２に掲げる手術に当たって、心拍動下冠動脈、大動脈バイパス移植術用機器を使用した場合に算定する。
Ｋ９３８　体外衝撃波消耗性電極加算　3,000点
注　区分番号Ｋ６７８及びＫ７６８に掲げる手術に当たって、消耗性電極を使用した場合に算定する。
Ｋ９３９　画像等手術支援加算
１　ナビゲーションによるもの　2,000点
注　区分番号Ｋ１３１、Ｋ１３１－２、Ｋ１３４－２、Ｋ１４２、Ｋ１４２－３、Ｋ１５１－２、Ｋ１５８、Ｋ１６１、Ｋ１６７、Ｋ１６９からＫ１７２まで、Ｋ１７４の１、Ｋ１９１からＫ１９３まで、Ｋ２３５、Ｋ２３６、Ｋ３１３、Ｋ３１４、Ｋ３４２、Ｋ３４３、Ｋ３４９からＫ３６５までに掲げる手術に当たって、ナビゲーションによる支援を行った場合に算定する。
２　実物大臓器立体モデルによるもの　2,000点
注　区分番号Ｋ１３２、Ｋ１３６、Ｋ１４２－２、Ｋ１５１－２、Ｋ１６２、Ｋ１８０、Ｋ２２８、Ｋ２３６、Ｋ２３７、Ｋ３１３、Ｋ３１４の２、Ｋ４０６の２、Ｋ４２７－２、Ｋ４３４、Ｋ４３６からＫ４４４までに掲げる手術に当たって、実物大臓器立体モデルによる支援を行った場合に算定する。

第４節　薬剤料

区分
Ｋ９４０　薬剤　　薬価が15円を超える場合は、薬価から15円を控除した額を10円で除して得た点数につき１点未満の端数を切り上げて得た点数に１点を加算して得た点数とする。
注１　薬価が15円以下である場合は、算定しない。
２　使用薬剤の薬価は、別に厚生労働大臣が定める。

第５節　特定保険医療材料料

区分
Ｋ９５０　特定保険医療材料　材料価格を10円で除して得た点数
注　使用した特定保険医療材料の材料価格は、別に厚生労働大臣が定める。

第11部　麻酔

通則
１　麻酔の費用は、第１節及び第２節の各区分の所定点数により算定する。ただし、麻酔に当たって、薬剤又は別に厚生労働大臣が定める保険医療材料（以下この部において「特定保険医療材料」という。）を使用した場合は、第１節及び第２節の各区分の所定点数に第３節又は第４節の所定点数を合算した点数により算定する。
２　未熟児、新生児（未熟児を除く。）、乳児又は１歳以上３歳未満の幼児に対して麻酔を行った場合は、当該麻酔の所定点数にそれぞれ所定点数の100分の200、100分の200、100分の50又は100分の20に相当する点数を加算する。
３　入院中の患者以外の患者に対し、緊急のために、休日に手術を行った場合又はその開始時間が保険医療機関の表示する診療時間以外の時間若しくは深夜である手術を行った場合の麻酔料及び神経ブロック料は、それぞれ所定点数の100分の80又は100分の40若しくは100分の80に相当する点数を加算した点数により算定し、入院中の患者に対し、緊急のために、休日に手術を行った場合又はその開始時間が深夜である手術を行った場合の麻酔料及び神経ブロック料は、それぞれ所定点数の100分の80に相当する点数を加算した点数により算定する。ただし、区分番号Ａ０００に掲げる初診料の注４のただし書に規定する保険医療機関にあっては、入院中の患者以外の患者に対し、同注のただし書に規定する厚生労働大臣が定める時間に手術を開始した場合に限り、所定点数の100分の40に相当する点数を加算した点数により算定する。
４　同一の目的のために２以上の麻酔を行った場合の麻酔料及び神経ブロック料は、主たる麻酔の所定点数のみにより算定する。
５　第１節に掲げられていない麻酔であって特殊な麻酔の麻酔料は、同節に掲げられている麻酔のうちで最も近似する麻酔の各区分の所定点数により算定する。
６　第１節に掲げられていない表面麻酔、浸潤麻酔又は簡単な伝達麻酔の費用は、薬剤を使用したときに限り、第３節の所定点数のみにより算定する。

第１節　麻酔料

区分
Ｌ０００　迷もう麻酔　31点
Ｌ００１　筋肉注射による全身麻酔、注腸による麻酔　120点
Ｌ００１－２　静脈麻酔
１　短時間のもの　120点
２　十分な体制で行われる長時間のもの　600点
Ｌ００２　硬膜外麻酔
１　頸・胸部　1,500点
２　腰部　800点
３　仙骨部　340点
注　実施時間が２時間を超えた場合は、30分又はその端数を増すごとに、所定点数にそれぞれ750点、400点、170点を加算する。
Ｌ００３　硬膜外麻酔後における局所麻酔剤の持続的注入（１日につき）（麻酔当日を除く。）　80点
注　精密持続注入を行った場合は、所定点数に１日につき80点を加算する。
Ｌ００４　脊椎麻酔　850点
注　実施時間が２時間を超えた場合は、30分又はその端数を増すごとに、所定点数に128点を加算する。